

当院の脳神経外科にて御加療を受けた方へ

【研究課題】

脳・脊髄・末梢神経疾患における臨床研究

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示す通りです。

研究機関 熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経外科学講座

研究責任者 武笠晃丈 脳神経外科教授

担当業務 研究統括

【研究期間】

承認（2019年 月 日）後 2030年9月30日まで

【対象となる方】

研究対象者は、1969年から熊本大学病院、脳神経外科で経験した、脳・脊髄・末梢神経疾患の患者様です。

主な内訳は、脳・脊髄・末梢神経血管障害、良性/悪性脳腫瘍・脊髄腫瘍・末梢神経腫瘍、機能的疾患として三叉神経痛・顔面けいれん・脊椎疾患・てんかん・パーキンソン病・振戦、頭部外傷です。

【研究の背景・意義・目的】

脳神経外科では、広く、脳・脊髄・末梢神経疾患を対象として治療を行っています。これらの疾患は、脳・脊髄・末梢神経血管障害、良性/悪性脳腫瘍・脊髄腫瘍・末梢神経腫瘍、機能的疾患として三叉神経痛・顔面けいれん・脊椎疾患・てんかん・パーキンソン病・振戦、頭部外傷などが占めています。

これらの疾患の確実な診断法・安全な治療法の確立が重要です。本研究はこれらの疾患のうち、脳・脊髄・末梢神経疾患の臨床的特徴を明らかにし、主に診断法、治療法を研究することを目的とします。本臨床研究により、脳・脊髄・末梢神経疾患についての広く正しい知見が得られ、患者により確実な診断法や安全で効率的な治療を提供できるようになる意義があります。

特に検討する課題は以下の項目となります。

- ・ 脳・脊髄・末梢神経疾患の臨床データと予後などの関連を見る臨床研究
- ・ 脳・脊髄・末梢神経疾患に対する治療方法と有効性・有害事象との関連を明らかにする研究
- ・ 術中電気生理学的モニタリング（VEP/SEP/MEP/ABR）の技術と有用性に関する研究
- ・ MR・CT・脳血管撮影等を用いた3次元画像による脳神経外科領域の術前シミュレーションの有効性の検討

【研究の方法】

この研究は、熊本大学病院倫理委員会の承認を受け、熊本大学病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている年齢、性別、症状、病歴、身体所見、神経学的所見、手術所見等のデータ、CT・MRI・脳血管撮影・核医学画像等、血液・髄液データ等を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担頂くことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において管理責任者の元、研究担当者が、パスワードロックをかけたノートパソコン、鍵のかかるロッカー等で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会・論文等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、主に熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経外科学講座の教室費ないし委任経理金から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

○尚、あなたへの謝金はございません。

2024 年 9 月

【問い合わせ先】

熊本大学病院 脳神経外科 助教 黒田順一郎

住所：熊本市中央区本荘 1－1-1

電話：096-373-5219（内線 5219） FAX:096-371-8064

Eメールでのお問い合わせ：jukuroda@kumamoto-u.ac.jp